

展示室1b,c 版画:ルドンを中心に

2021年11月27日(土)~2022年3月27日(日)

19世紀後半以降の科学や技術の急速な発展による社会変革は、芸術家にも新たな画題や最新の画材等をもたらしました。フランスの画家オディロン・ルドンによる木炭画や版画による「黒」の作品や、後半生の色彩豊かなパステル画や油彩作品にみる表現は、西欧のみならず日本でも早くから紹介され、20世紀以降の芸術家たちに影響を与えてきました。本特集展示は、企画展「new-fashioned:日本洋画 美の系譜」との連動企画として、同時代から現代までの、ルドンと影響関係にある日仏の画家たちを紹介します。

◎印は寄託作品、○印は2月6日(日)まで、●印は2月8日(火)から展示

作家名	生年-没年	作品名	制作年	技法、素材
ロドルフ・プレスダン	(1822-1885)	○ 死の喜劇	1854	リトグラフ、紙
		● 死の喜劇	1854	リトグラフ、紙
		○ 善きサマリア人	1861	リトグラフ、紙
		● 善きサマリア人	1861	リトグラフ、紙
オディロン・ルドン	(1840-1916)	○ 光の横顔	1886	リトグラフ、紙
		● 光の横顔	1886	リトグラフ、紙
		○ キリスト	1887	リトグラフ、紙
		○ 『悪の華』	1890	銅版、紙
		○ 眼をとじて	1890	リトグラフ、紙
		● 眼をとじて	1890	リトグラフ、紙
		● 『夢想(わが友アルマン・クラヴォーの思い出に)』	1891	リトグラフ、紙
		● バルジファル	1892	リトグラフ、紙
		神秘的な対話	1896頃	油彩、画布
		○ 『聖アントワヌの誘惑』第三集	1896	リトグラフ、紙
		○ オディロン・ルドンの肖像	不詳	リトグラフ、紙
		● アリ	1898	リトグラフ、紙
		● 『聖ヨハネ黙示録』	1899	リトグラフ、紙
		眼をとじて	1900以降	油彩、画布
オフィーリア	1901-02頃	油彩、画布		
花の中の少女の横顔	1900-10頃	油彩、画布		
山本 芳翠	(1850-1906)	◎ 作品名不詳	不詳	油彩、画布
ポール・セリュジエ	(1864-1927)	消えゆく仏陀-オディロン・ルドンに捧ぐ	1916	油彩、画布
はせがわ きよし 長谷川 潔	(1891-1980)	○ 本の上の小鳥	1967	銅版(マニエル・ノワール)、紙
		● 竹取物語	1933	銅版(ビュラン刻)、紙
つぼうち せつたろう 坪内 節太郎	(1905-1979)	砂の花	1971	油彩、画布
鈴木 広行	(1950-)	○ Being Shaped-B	2004	モノタイプ、紙
		○ Being Shaped-C	2004	モノタイプ、紙
		○ Being Shaped-D	2004	モノタイプ、紙
		○ Being Shaped-E	2004	モノタイプ、紙
		● Being Shaped-F	2004	モノタイプ、紙
		● Being Shaped-G	2004	モノタイプ、紙
		● Being Shaped-I	2004	モノタイプ、紙